

復興支援 ～ 農商工福連携！

手仕事ビジネス進化ドキュメントストーリー

笑顔あふれる地域が広がる

アップサイクルの取組み

2025年7月17日

株式会社WATALIS 代表取締役 引地 恵

Watalis

アップサイクルで創る

懐かしくて新しい未来

引地 恵



● 引地 恵 (ひきち めぐみ) 略歴

- ・ 宮城県亶理町生まれ 宮城教育大学大学院卒業
- ・ 大日本印刷株式会社勤務を経て亶理町職員となり、社会教育主事・学芸員として地域づくりや民俗調査に関わる
- ・ 2012年3月退職後に亶理町史民俗篇調査・執筆者となる
- ・ 2013年4月宮城県亶理町に一般社団法人WATALISを設立、代表理事となる
- ・ 2015年5月株式会社WATALISを設立、代表取締役となる
- ・ 2019年9月亶理町「里と海をつなぐまちフェニックスプラン」推進協議会を設立、代表となる
- ・ 内閣府地域活性化伝道師 (継続中)

● WATALISが生まれた町

地域名

宮城県亶理郡亶理町

(宮城県南部)

人口

32,230人(2025年6月)



● 豊かさを感じられなかった子ども時代



● 着物にまつわる民俗調査 - 役割や機能を越えた価値を知る



- 嫁ぐ娘を想う親の愛の象徴 = お守り
- 時を越えて「感謝」を伝えてくれる
- 逃えた人、纏った人が生きていた証

● 東日本大震災 - 失ってから気づいた「あたりまえ」の尊さ



- 震度6弱の揺れにより、町面積の約半分が津波による浸水被害
- 第1次産業（農業、漁業）に壊滅的な被害

● 父の死 - やり場のないネガティブな気持ち



● 「感謝を形にする生き方」 - 地域の宝との出会い



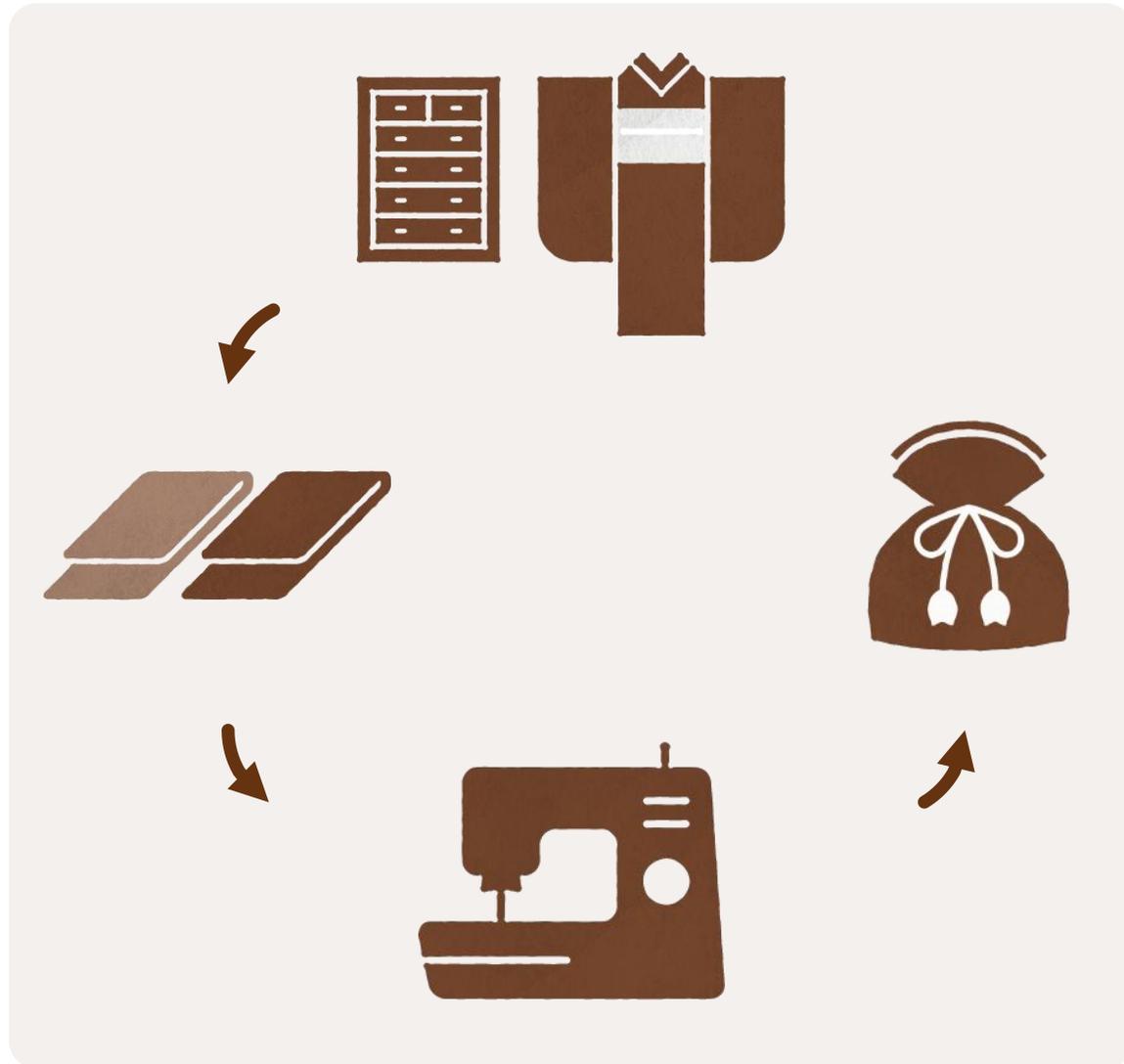
「ふぐろ」

- 心豊かな生き方を生み出す手しごと
- あたりまえの暮らしの中にある美しさ

● WATALISのはじまり - ふぐろからFUGUROへ



●アップサイクル - 衣類としての役割を終えた着物の再生



● 商品ができるまで - 女性たちの丁寧な手しごと



水洗い



選別



糸の選定



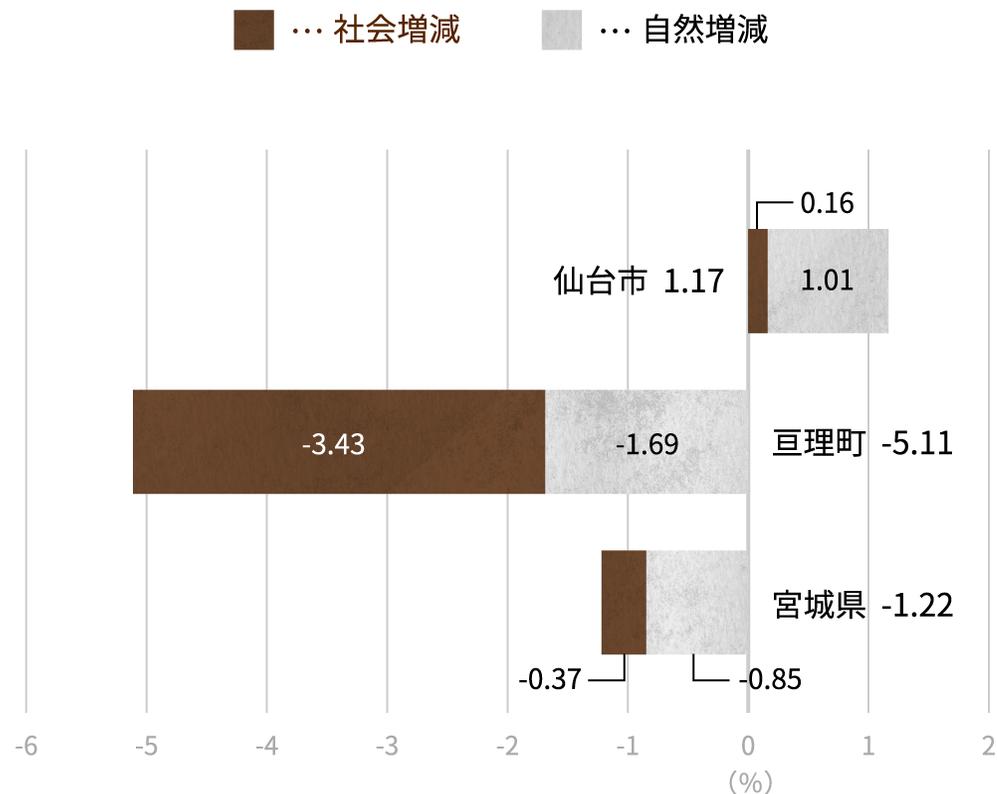
縫製



デザイン

● 震災後の地域課題

人口増減率

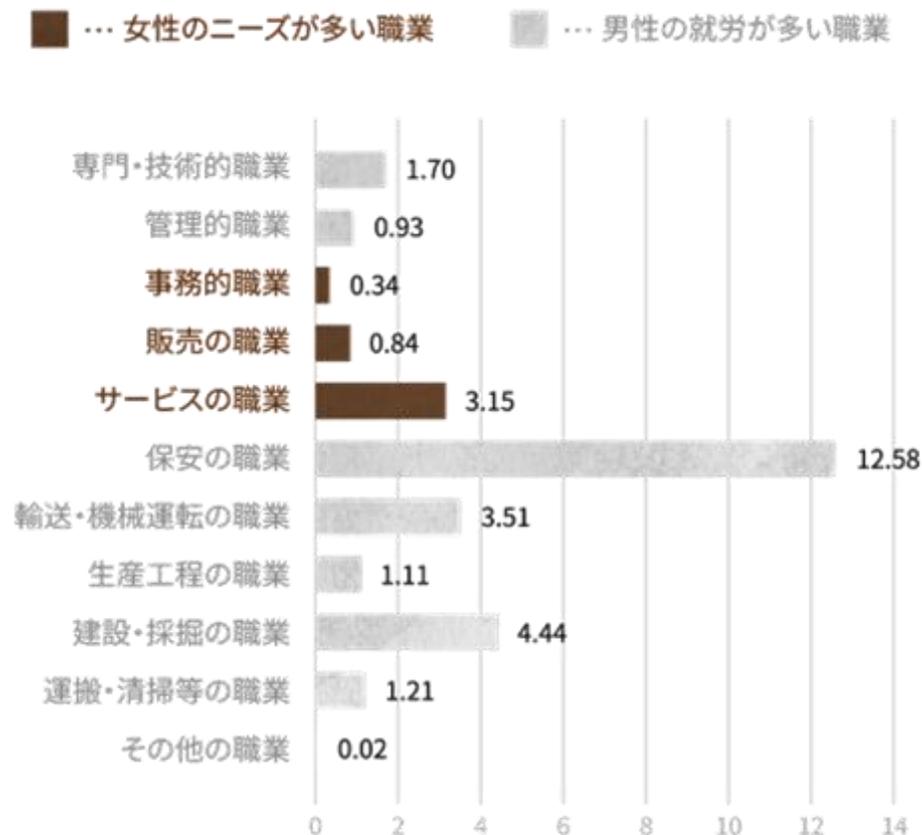


宮城県推計人口(月報)統計表「市町村別推計人口増減数内訳」
(2011年3月1日～2013年4月1日)をもとに(株)WATALISで作成

- 東日本大震災後に転出が相次ぎ、人口の減少が顕著に
- 地域コミュニティが崩壊。高齢化率も高まり、世代間交流の機会が減少
- 地域文化の次世代への伝承機会（祭り、年中行事など）の消失

● 震災後の地域課題

常用計 有効求人倍率



厚生労働省宮城労働局統計情報「求人・求職バランスシートハローワーク仙台管内(亶理町を含む)」(2013年4月)をもとに(株)WATALISで作成

- 特別なスキルを持たない女性の働く場の喪失
- 雇用と就労のミスマッチ
- 子育てや親の介護をしながら社会と関わりたいというニーズを満たす職場は、以前から圧倒的に不足

● 女性が誇りをもって働ける場創り - 孤立を防ぎ自立へ向けて



● ビジネスコンテストへのチャレンジ - 認知と信頼を得たい



REVIVE JAPAN CUP大賞 復興庁 (2014.1)



DBJ女性起業震災復興賞
日本政策投資銀行 (2014.6)

● 受賞歴など

- 2013年度 復興庁主催REVIVE JAPAN CUP 大賞／eco japan cup 入賞
- 2014年度 日本政策投資銀行 女性新ビジネスプランコンペティション
「DBJ女性起業震災復興賞」
- 2014年度 TEDx Tohoku にスピーカーとして登壇
- 2014年度 中小機構 JVA2015 「東日本大震災復興賞」 受賞
- 2014年度 ドイツ Ambiente アンビエンテ / 国際消費財見本市出展
- 2014年度 国際労働機関(ILO)フィリピン国別事務所主催シンポジウム登壇
- 2016年度 復興庁主催「東日本大震災5周年復興フォーラム」パネリストとして登壇、安倍首相との座談会に参加
- 2016年度 復興庁主催「新しい東北」復興功績顕彰受賞
- 2017年度 総理主催「桜を見る会」出席
- 2017年度 平成29年度巡回特許庁PR検討委員会委員
- 2017年度 経済産業省 中小企業庁 はばたく中小企業・小規模事業者300社に選定され、優良事例となる
- 2018年度 FUGUROが宮城県特定随意契約制度認定新商品に認定される
- 2021年度 環境省「環境ビジネスの先進事例」に採択される

●株式会社設立(2015) - 一般社団法人から事業の一部を譲渡



ドイツ アンビエンテ
国際消費財見本市出展(2015.02)

かつて宮城県亶理に暮らす人たちは、贈りものをする時に古い着物の残布で仕立てておいた「袋」に入れて渡していました。たとえばそれは、お祝いやお返しとして用いた1升の米であったとか。定まった名前はなく、“ふくろ”がなまって、ただ“ふぐろ”と呼ばれていました。

「FUGURO」は、その昔ながらの風習を再現し、リメイクしたものです。素材となるのは、箆笥に眠る何千枚もの中から選りすぐった、おめでたい文様の着物地。手にする人の幸せを願う気持ちをしっかりと縫い込めながら、一つひとつ丁寧な手仕事で仕上げています。

大切なものを包み贈る、ゆかしい返礼文化、感謝の心を商品に縫い込めて。あなたに幸せを運ぶ、世界に一つだけの美しさをお届けします。



In Watari, local women used to sew bags out of old clothing, which they would fill with rice or beans and give away as gifts to show their thanks. These bags did not have a proper name but were simply called “fuguro”— the local pronunciation of “fukuro” (“bag” in Japanese).

“FUGURO” re-enacts this traditional custom with contemporary sensitivity. The bags are made from kimono fabrics with auspicious symbols that were carefully selected from the thousands stored in drawers. All FUGURO products are handmade with utmost care and stitched with our very best wishes to those who will have them in their hands.

To you, we deliver the beauty of unique pieces that will bring you happiness and joy, inheriting the local culture of showing gratitude with a humble gift.

3つのサイズからお選びいただけます [3 sizes]

- [大]サイズ(Large)：縦(H)36cm×横(W)32cm×幅(D)10cm
- [中]サイズ(Medium)：縦(H)27.5cm×横(W)26cm×幅(D)6cm
- [小]サイズ(Small)：縦(H)19.5cm×横(W)16cm×幅(D)4cm

FUGUROの商品説明書（日英併記）

● コラボ商品の制作 - 亘理から日本全国へ、世界へ



アイリスオーヤマ 株式会社
大山会長とともに



コラボ復興応援ギフト (2014.12)

● コラボ商品の制作 - 亘理から日本全国へ、世界へ



トーマスワイルドとのコラボ商品
25ansで誌上販売 (2013.10)



ジラルール・ペルゴの限定モデルパッケージ
(2014, 2015)

● 世界に誇れる地域の宝物 - 海外のゲストへの贈り物に



台北で「台湾・日本東北交流懇談会」とあわせて行われた蔡英文総統表敬訪問にて宮城知事からの記念品として手渡された。

(2016.08.23)

● 世界に誇れる地域の宝物 - 海外のゲストへの贈り物に



Long-Term Investors Club 年次総会 及び
D20 Conference Tokyo 2019 土産品採択
(2019.04)



着物地のワインボトルケース

● 新店舗と工房オープン - 空き店舗のアップサイクル



WATALIS新店舗オープン(2017.5.15)

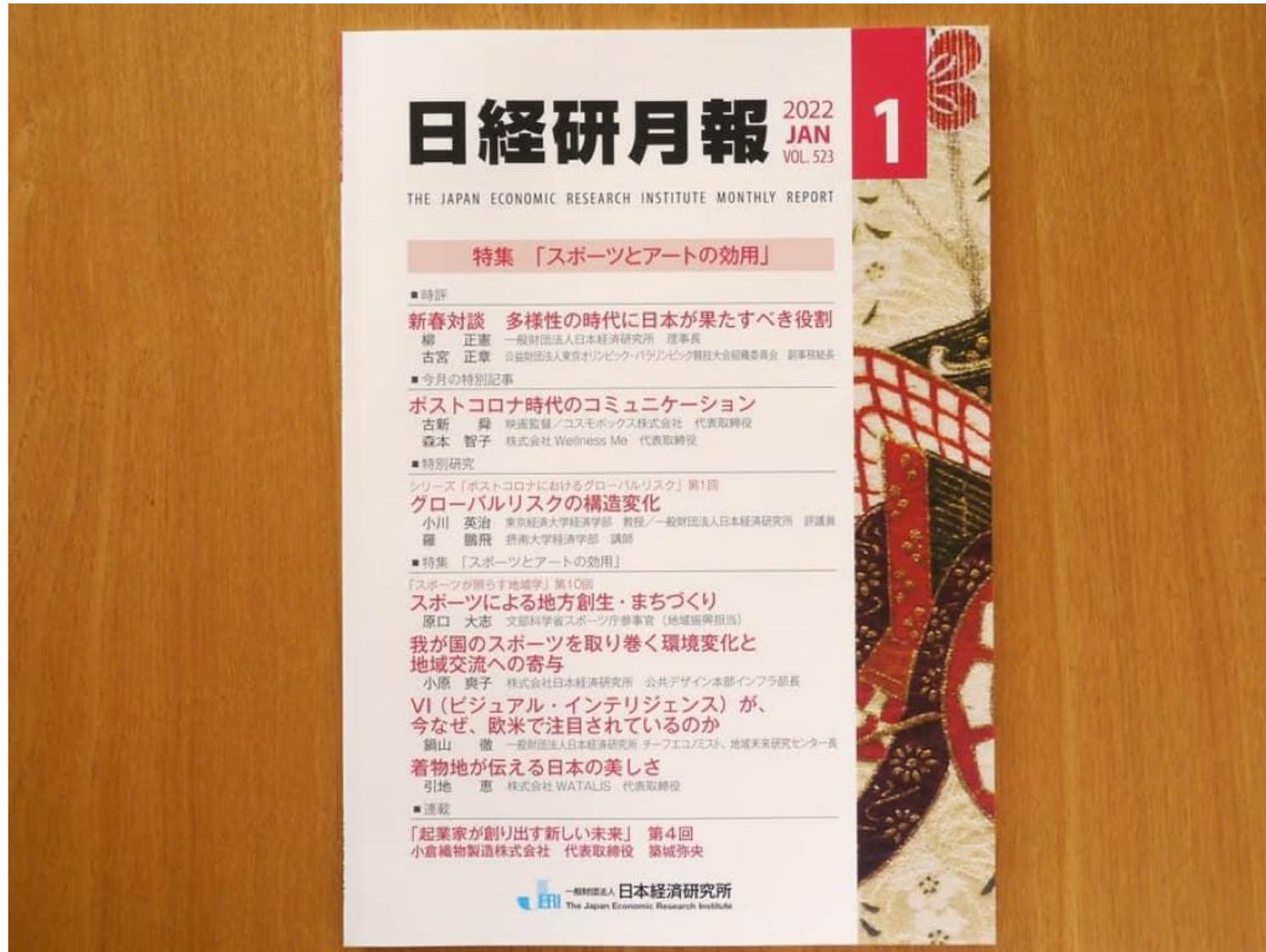


河北新報掲載(2017.5.19)

● 商品展開の進化 - デザインや技術の学びを形に



● 商品展開の進化 - 着物地をデザイン素材として活用



●商品展開の進化 - 体験キットによる海外の若者との交流



タイの大学生 (2018.06.06)



米国の高校生 (2018.07.05 / 07.28)

●商品展開の進化 - 体験キットによる海外の若者との交流



JICAブラジル事務所主催

「J-WINGSブラジル女性起業家支援プログラム」入賞者の皆さん (2025.06.26)

●商品展開の進化 - 地域内企業との連携による新ブランド



● 発信の場の拡大 - 販路 (2025 現在実績)

国内常設店舗 - 27 店舗

仙台駅東北めぐり いろいろ

仙台うみの杜水族館 ほか

催事出店数 - 延べ 212 回

仙台三越、丸善仙台アエル店

名古屋名鉄百貨店、伊勢丹新宿店 ほか

国外販売店舗 - 2 店舗

ドイツ「Japanalia」ほか

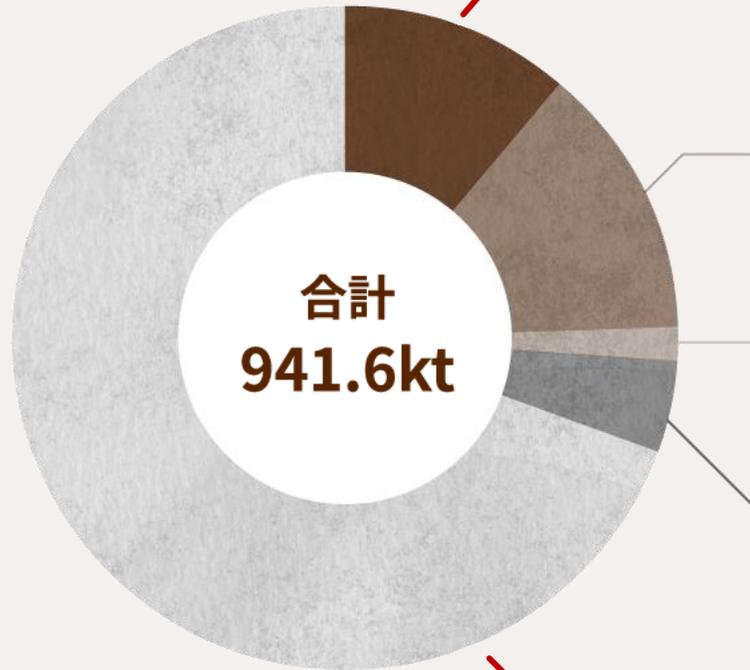
Web販売 委託先 - 8 ヶ所

Web販売 - 自社サイト

WATALIS オンラインショップ

● アップサイクルで衣類のリサイクルへ貢献

衣料品排出量



リサイクル率
11.3%(106.4kt)

リユース率
13.4%(125.7kt)

リペア率
1.6%(15.4kt)

店頭在庫
4.3%(40.4kt)

廃棄
69.4%(653.7kt)



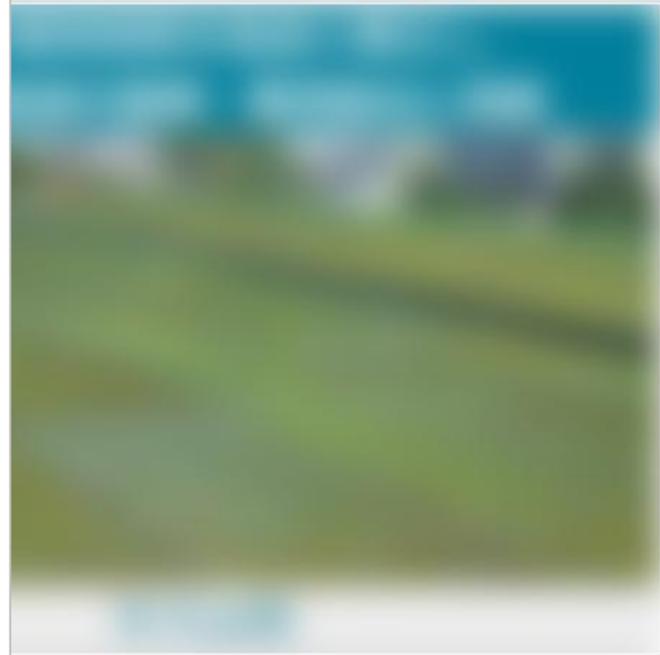
WATALISでは
累計12トン以上の
着物地を
手しごとで再生

(2011-2023)

独立行政法人中小企業基盤整備機構「繊維製品3R関連調査事業報告書
衣料品のライフサイクルフロー」(2010年)をもとに(株)WATALISで作成



● 環境省 「環境ビジネスの先進事例」 採択



地域に根付く文化や技術を商品に
することで可視化、再び世の中へ



WATALIS



● 被災地の女性起業家 - 私は何がしたかったのか？



WIT 2018 宮城県・みやぎの
女性活躍促進連携会議 (2018)



ちいきん会 金融庁 (2018)

● 新たな地域課題との出会い - 守り続けることの難しさ



- 増える空き家、空き店舗
- 担い手不足の遊休農地

● 空き店舗のアップサイクル - コミュニティカフェに



● 空き店舗のアップサイクル - ワークショップ会場に



1,277回実施、延べ11,546人参加（2024年3月現在）

● 遊休農地のアップサイクル - 野菜づくり、養蜂・花畑づくり



● 遊休農地のアップサイクル - ミツバチの飼育と蜜源植物栽培



地域における孤独・孤立対策に関する
NPO等の取組モデル調査研究業務（内閣府）

● 遊休農地のアップサイクル - 里山の環境整備と竹炭づくり



地域における孤独・孤立対策に関する
NPO等の取組モデル調査研究業務（内閣府）

● 遊休農地のアップサイクル - ミツバチ観察会と活動拠点整備



COSMOエコ基金プロジェクト
(コスモ石油)

● 多様な人たちとの協働 - 企業連携によるはちみつ入コスメづくり



● 多様な人たちとの協働 - 障がい者就労支援施設との連携



● 改めて思う「WATALIS」とは - コミュニティづくり

株式会社
ものづくり

一般社団法人
多様な人たちの
交流と協働の場

地域の暮らしを
受け継ぎ伝える

学びと
実践

● 改めて思う「WATALIS」とは - コミュニティづくり



養蜂と
ビーガーデンづくり



ものづくり
(縫う、編む、織る)

WATALIS
学びと実践

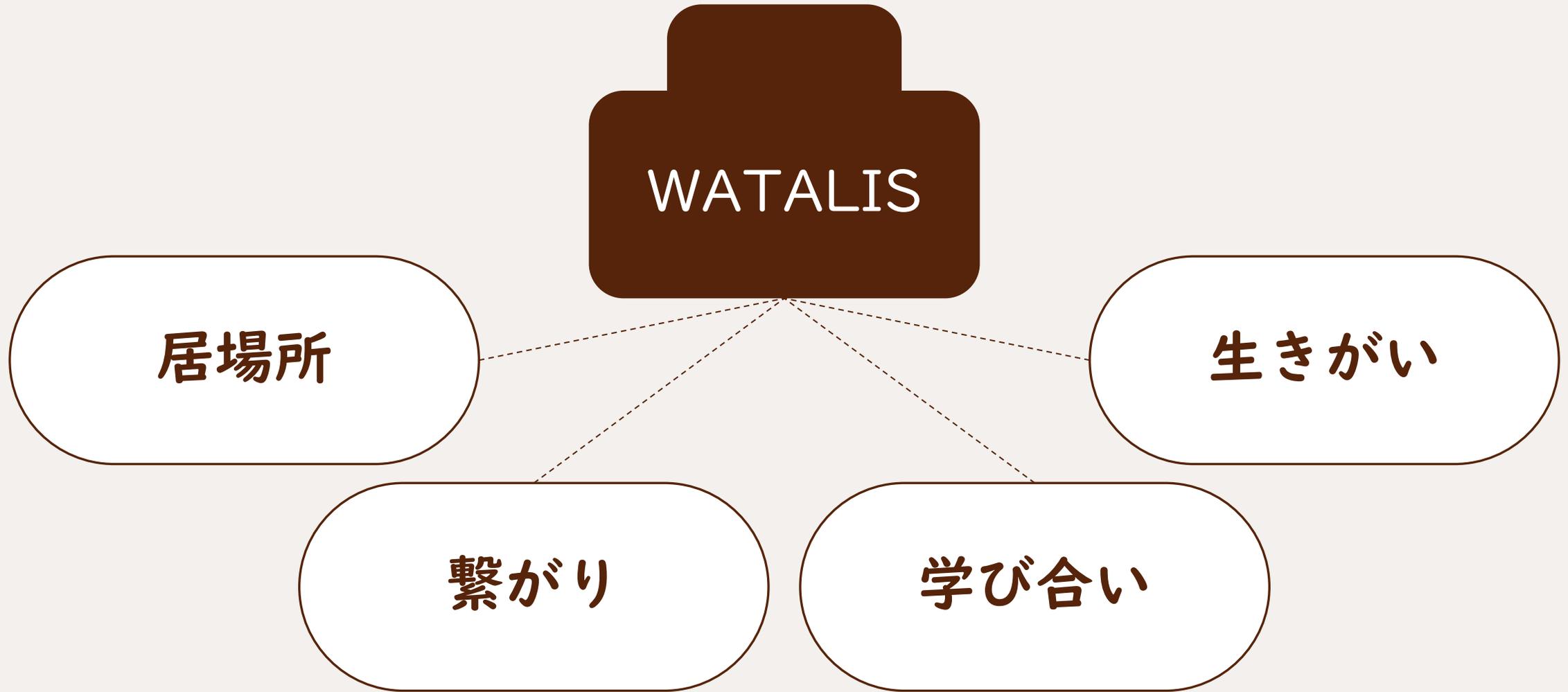


野菜づくり

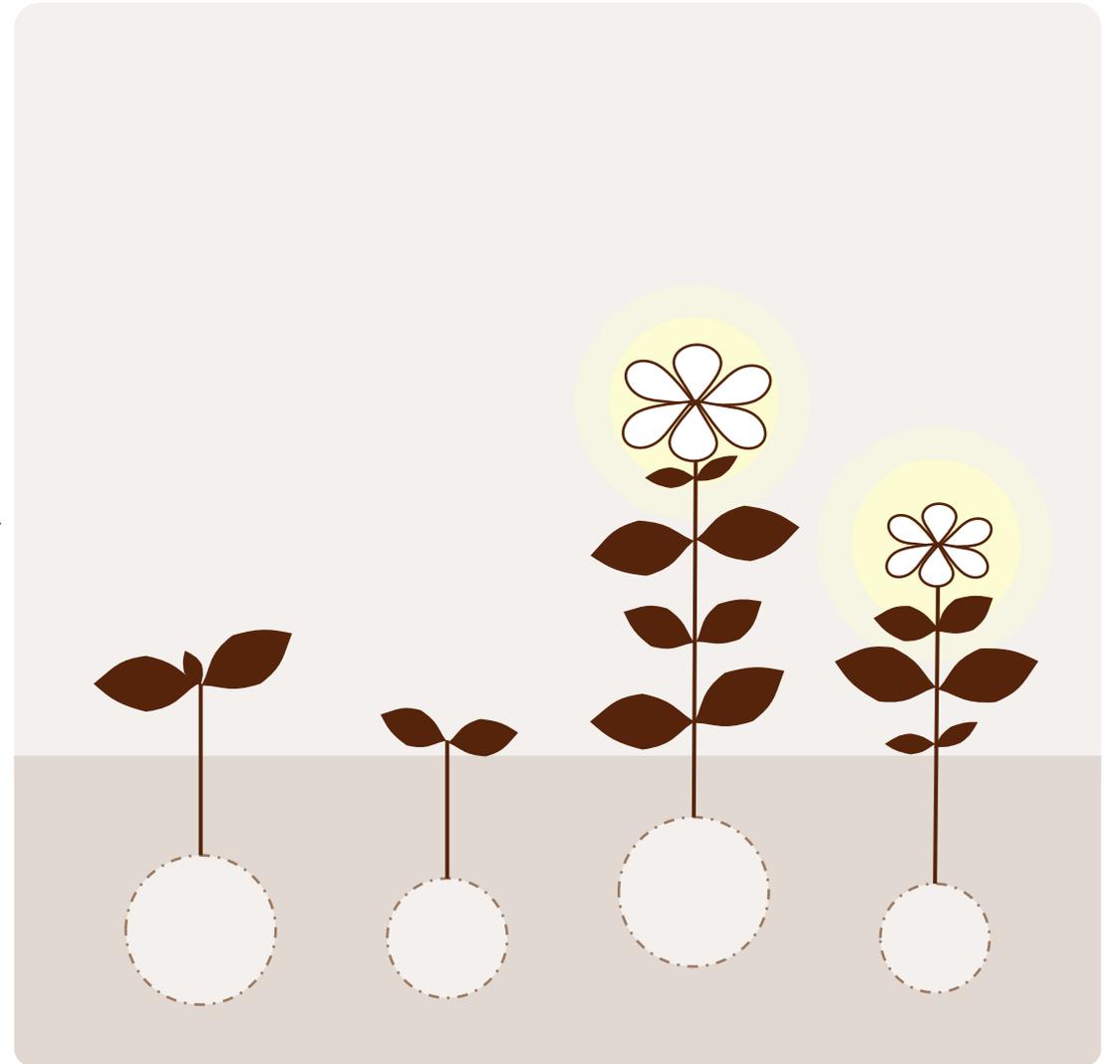
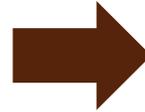
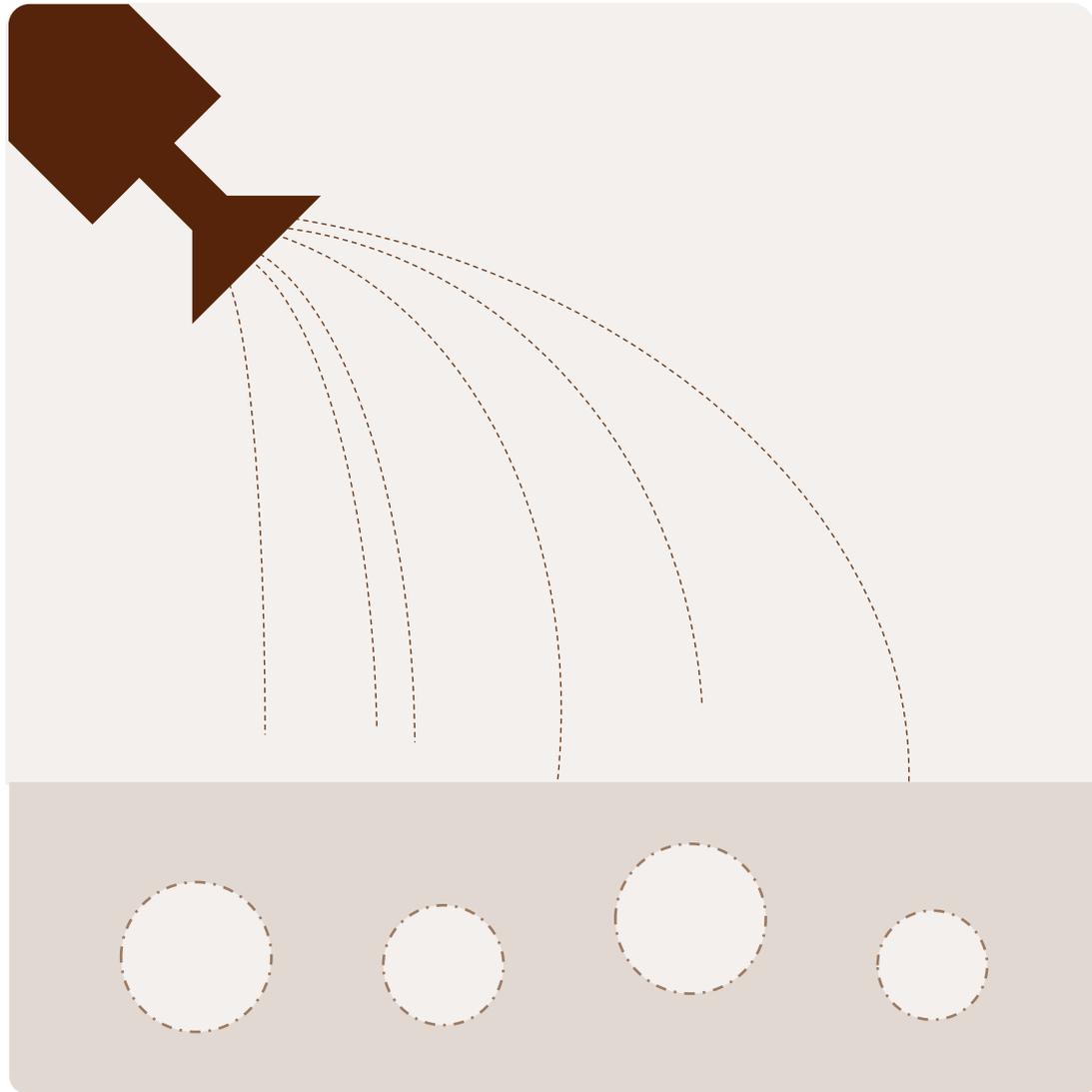


味噌づくり
郷土食づくり

●改めて思う「WATALIS」とは - コミュニティづくり



● 地域の良さを見出す生き方を - アップサイクルの担い手づくり



●取り組みを通して目指すのは - 懐かしくて新しい未来

地域の暮らしを受け継ぎ

今の時代に合う形で伝えていくことで

交流の場や居場所が生まれ

人と人との「温かなつながり」を実感できる

● ネットワークづくり - 出会いは奇跡



震災の時には2歳だった高校生たち
同じく被災地である名取市で、市民活動に取り組む皆さん

● ネットワークづくり - 出会いは奇跡



生活クラブ連合会組織活動推進会議、生活クラブ共済事業連合生活協同組合連合会の皆さん
震災から長い年月を経た今だからこそ、真剣に話を聞いてくださる姿が心に染みた

● ネットワークづくり - 出会いは奇跡



ミツバチによる受粉のお手伝いをした相澤農園（ブルーベリー栽培）にて
相澤さん、内山さん、岩野さん、日下さん

● 実現するインパクト（年間）



着物地アップサイクル取扱量

1トン



地域資源のアップサイクルで
生まれる人のつながり

延べ10,000人



学ぶ人、実践する人

延べ1,000人

● 実現するためには

- 活動資金を作る
 - 心の繋がりを生み出すコミュニティの核であるために
- アップサイクル商品を世界中の人に手渡す
 - 取り組みの成果を広く共有するために
- 「仲間」「協業者」と出会う
 - 取り組みを継続し、広げるために

●直近の課題 被災した防潮林と果樹園での養蜂



資材、運搬手段、担い手の確保

●直近の課題 地域内の竹害への対応



資材、運搬手段、担い手の確保



● WATALISとSDGs



WATALISは、SDGsに掲げられた目標に取り組んでいきます

WATALISは

地域の暮らしに根差したアップサイクルを実践し

物事の良い面に目を向け感謝する生き方を受け継ぎ、伝えていく

新たなコミュニティを創ります



お問い合わせ
contact@watalis.co.jp

オンラインショップ
<https://watalis.com>

